

2014年 活動報告 (2014.4 ~ 2015.3)

あの震災から4年… あの震災から4年。東北3県の被災地域でも、その殆どが仮設から新たな住処へと居住の場を変え、新しい生活が始まっていますが、新たな“コミュニティー作り”はそれ程簡単ではありません。APRICOTが関わり続けてきている岩手の小さな村でも、今になって、当時の小さな行き違いの不満が吹き出てきたり、福島では、相変わらず原発と共に生きる生活の中、子どもを抱える親達等は特に、それぞれのこだわりも異なり、本来なら一番支え合いたいママ友同士での会話でも、肝心の原発関連の話題を避けている現実が生じたりしています。そして又、当然に、震災以来、現地で支援活動を続けている、支援者達の疲弊も目立って来ていて、毎回、現地を訪れる度に、現地にいない私達に出来る支援は何なのか？を問い続けながら、試行錯誤を繰り返してきています。

APRICOTの昨年3月末から今年3月末までの主な活動報告と、この一年間の皆様から頂戴しました寄付金の収支報告をさせていただきます。

昨年度は、APRICOTのイベント収入に加え、皆様からご協力いただきました寄付金の合計は、なんと**2,128,011円（利息含む）**と、昨年の5倍以上となりました。皆様のご支援に深く感謝致します。

今年度は、一般の皆様からの寄付金**617,994円**に加え、この3月8日にベルギー大使館で行われた特別イベント“**Marche de l'Apricot（アプリコット市場）**”での収益が**150万円**に及ぶ金額となった事によるものです。

これは、APRICOTの趣旨に賛同下さったベルギー大使ご夫妻始め、イベントに際し準備段階からご尽力下さいました大使館スタッフの皆様の絶大なるお力によるもので、この場をお借りして、改めて心より礼申し上げます。

又、海外の皆様からも色々な形で、ご協力ご支援をいただきました。

皆様、本当にありがとうございました。

又、昨年度のもう一つのビッグニュースは、私達の**APRICOT**が、遂に正式に「**非営利活動法人（NPO）APRICOT**」として認可された事です！

2012年暮れに誕生したAPRICOTは、昨年10月21日に東京都からの認可が下り、いよいよ「**非営利活動法人（NPO）APRICOT**」としてスタートしました。

これもひとえに皆様からのご支援の賜物と感謝しております。

どうぞ今後とも、引き続き、宜しくご協力ご支援の程、お願い申し上げます。

尚、昨年度頂戴致しました寄付金は、既に、下記の通り、APRICOTの趣旨に即して被災地でのメンタルヘルス支援に関わる団体に送らせて頂きました。

又、この3月のイベントでいただいたばかりの大きな寄付金については、慎重に検討し、随時、支援を必要とする機関にお届けする予定です。

APRICOTは、今後も引き続き、又、皆様と共に被災地の子供達の為に、支援活動を続けて行くつもりです。今年度も引き続き、ご支援及びご協力を宜しくお願い致します。

8/02~03 APRICOT EVENT: ASEAN フェスティバルに参加

APRICOT のフェイスペインティングチームは、東日本大震災の家族の写真を撮っている“Photo Tohoku フォト東北”の皆さんとジョイントで、被災地の子供達の為の支援を募り、あの真夏の炎天下、代々木公園で2日間に渡り多くの子供達に喜んで貰いながら、26,000 円の寄付を頂戴致しました。

8/07~11 “バラ作戦” 夏の支援に参加

岩手県田野畑村のメンタルヘルス支援チーム“バラ作戦”に今年も、APRICOT のメンバーが参加。保健センターでの相談者への講演会を行ったり、仮設住宅集合所では仮設から出た人、残っている人など、それぞれのストレスチェックを中心に、被災当事者の実状を聞かせて貰いました。

9/24~25 ～ストレス解消教室～&～親子遊び・親ミーティングに参加

福島県伊達市の保健センターと協力し、「ハートフルハート未来を育む会」が行っている支援活動で、24日は「お茶のみにこらんしょ～ストレス解消教室～」に参加。高齢者を中心とした皆さんに、放射線不安や避難による家族や地域住民との別離による精神的負担の軽減心身の健康づくりの啓発等を目的に、健康相談、ストレス解消のリラクゼーションを実施。APRICOT メンバーも一緒に勉強させて貰いながらお手伝い。又、25日は「親子遊び支援」で伊達中央交流館に集まった親子と一緒に、親子遊びは保育士が担当、親とのピアミーティングでは、臨床心理士チームが担当し、参加親子と一緒に楽しみながらの支援をお手伝いさせて頂きました。

10/30 ~11/4 “バラ作戦” 秋の支援に参加

APRICOT メンバーは、夏の支援に続いて秋の支援にも参加。夏に出来なかった全村バラ配布作戦では、学生達と共に一軒づつ回りながら話を聞き、又、実際に仮設等で相談に当たる支援者へは傾聴訓練のワークショップをお手伝いしました。

2015 2/25~26 ～南相馬 親子遊び・親ミーティング～に参加

25日夕方に郡山にある「ハートフルハート未来を育む会」事務所で事前ミーティングを行い、いたる所に放射性廃棄物の黒いゴミ袋が積まれた飯館村を通過しながら、南相馬の民宿に一泊。26日は、南相馬市保健センターの保健師さん達と共に「親子遊び」に参加。放射線量の最も高い双葉町や浪江町からの避難者が多い地域だけに、親のピアミーティングでは、国、及び個人の人放射線対策についても様々な意見が飛び交い、まだまだ支援の必要性を痛感させられて帰京しました。

3/8 ベルギー大使館で“Marché de l'Apricot(アプリコット市場)”開催

APRICOTの趣旨に賛同してくれたベルギー大使の了解の元、大使館で開催された“Marché de l'Apricot(アプリコット市場)”は、お陰様で大成功！

ベルギー大使、そして庵努龍（Andrew）理事長の挨拶で始まったイベントは、なんと900人もの方が集まる大盛況。

ベルギービールもチョコレートも飛ぶように売れ、APRICOTスタッフも、被災地支援の為に送られてきた子供服販売と昨夏にも行ったフェイスペインティングとを合わせて32,000円を売り上げましたが、それを含め、協力下さった様々な機関から何と150万円に及ぶ寄付をいただきました！

昨年度内に、既に寄付支援を送付した被災地支援機関

NPO ハートフルハート未来を育む会: 30万円

震災発生以来、福島の子どもたちの為に奔走している元福島臨床心理士会会長の成井香苗先生が、一昨年秋にスタートした専門職従事者による情報発信・啓発活動や調査を行ったり、子ども支援に関わる情報を集約する「[特定非営利活動法人 福島子どものこころと未来を育む会](#)」とは別に、実際の子どもたちへの支援活動を目的に創られたNPOです。

「親子遊びと親ミーティング」の支援に加え、自治体の要請に基づく心のケアチームの派遣や、放射能低線量被ばくの不安を抱える子ども一人ひとりの体の健康（発育や運動機能を含むフィジカル面）と心の健康（メンタル面）をトータルにケアできる健康増進プログラムを実施する「健康増進・元気アップ事業」を行っています。

APRICOTメンバーも伊達市や南相馬に赴き、お手伝いさせてもらっていますが、福島は放射性物質の処理問題も片付かず、まだまだイントラウマ！今後とも大きな支援が必要です。

チーム”バラ作戦”：50万円

あの震災の夏以来、明星大学の黒岩誠先生率いる明星大学学生相談室有志が中心となって、岩手の田野畑村を支援しているグループです。被災地周りをする保健師さんのお供で、ご挨拶がてら一軒づつバラ輪を配りながら回ったのが始まりでしたが、今は村の保健センターと連携し、毎夏にはメンタルヘルスの講演会等と合わせて、相談員さん達のサポートに力を入れています。全村へのバラ配布が大変で、今年は夏と秋の二度に渡って訪問しました。仮設を出始めた皆さんは、又、新たなコミュニティ作りも大変そうです。子供達の元気は、先ず、家族の元気が不可欠。元々メンタルヘルスについては、まだまだ抵抗の大きい村で、村内で村民が直接メンタルヘルス支援に関われるよう、保健師さんは勿論、日頃村民の相談窓口となっている仮設の相談員さんや民生委員さん達のサポートが大事になってきています。

以上2014年APRICOTの活動報告ですが、何か質問等ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

又、2015年の活動も開始しております。随時ご報告させて貰いますので、今しばらくお待ち下さい。